一身田の新聞

編集者　岡本博和
主催　盆踊り実行委員会

一身田盆踊り大会

8月14日(木)・15日(金)　高田本山境内

午後6時から　雨天中止

いよいよ本格的な夏を迎える。ほとばしる汗の中での祭りや花火大会は快感と感動を与えてくれる夏の風物詩でもある。

近々の「まつり」としては、一身田七夕まつりが7月5日、白塚のやぶねりが7月11日、河芸町一色のざるやぶりが7月15日に行われる。花火大会も伊勢神宮奉納花火大会が7月19日、津花火大会は7月26日に催される。

一身田盆踊り大会実行委員会は（委員長　望木幹雄）8月14日（木）・15日（金）の二日間高田本山境内で午後6時から開催することを決定した。（雨天中止）

開演の午後6時は小さな子ども達に配慮したものである。

今年の特徴は、老若男女みんなが楽しめること、参加型・出演型に重点が置かれていることである。これまでに3回の会議をもって広く意見集約を行った。

現段階ではすべて発表することはできないが、あっと驚くイベントを考えている。その一つが元SKE48の井口栞里が来場し、トークショーや踊りの輪に入ってもらう予定。「ぜひ楽しみにして下さい」と望木委員長は語る。

盆踊りと並行して行われる楽しみの一つに『あんどんコンクール』がある。このコンクールの歴史は古く、大正13年が第一回目であった。栄えある第一回受賞者は、武野薬局であった。

当時のあんどんコンクールの名称は『廣告行燈意匠競技会』、審査長　三重県技師従六位勲五等　有元轍三郎。

元SKE48　井口栞里

本山境内にひと際輝やく行燈のひかり

募集　折り鶴作品　あんどん作品

今年90年目を迎える『あんどんコンクール』。今年は広く町民各位の作品を募集する。木枠（定型枠）に絵や写真、コンピューターグラフィック、工作物などを作って盆踊り大会時に高田本山境内に展示する。

優秀作品には賞状と副賞がある。出品作品はすべて展示する。木枠の貸し出しは商工会員の中川洋装店（232－2366）・オカモトヤ（232－2109）まで。

木枠（正面の大きさ）
縦78cm×横45cm
木枠（横枠の大きさ）2枚
縦78cm×横32cm
作品は返却しない。

東日本大震災が発生してから3年が経過した。まだ行方不明者が2，600人以上もいる。盆踊り実行委員会は鎮魂の意味も込めて以下の条件で『折り鶴』コンクールを行う。

（1）折り鶴の紙質は問わない
（2）大きさは問わない
（3）折り鶴の長さは2m以内
（4）糸で通した鶴の下に短冊を付ける。短冊の長さは30cm以内、コメント・氏名・電話番号を記載する

優秀作品には賞状と副賞がある。作品の提出場所は公民館、7月31日（木）まで

公民館電話番号232－2108